

プログラム

10:00-10:20 挨拶、特別シンポジウム趣旨説明

..... JST 永野 智己

10:20-10:40 基調講演 分離工学イノベーションに向けて

..... 九州大学 林 潤一郎

S1 10:40-12:00 気体・液体の分離

気体分離用膜分離材料・技術の展望 産業技術総合研究所 吉宗 美紀

多孔性金属錯体の設計と高選択分子吸着機能 名古屋大学 松田 亮太郎

革新的高機能分離素材の開発 東レ(株) 山根 深一

討論1

S2 13:00-14:20 鉱物資源・固体(元素)の分離

泡によるレアメタルの選択濃縮分離 鹿児島大学 二井 晋

これからの製錬研究 京都大学 宇田 哲也

非鉄金属製錬における有価金属の

分離回収技術、課題と期待 三井金属鉱業(株) 野田 眞治

討論2

14:20-14:40 休憩

S3 14:40-16:00 バイオ・医薬食農系の分離

マイクロデバイスによる生体物質分離 千葉大学 関 実

自己組織系を活用するBio-Inspired分離の可能性 大阪大学 馬越 大

バイオ医薬品の分離技術、課題と期待 協和発酵キリン(株) 内田 和久

討論3

16:00-17:00 総合討論・パネルディスカッション

「新時代の分離工学イノベーションへ、
化学工学はどう向き合うか」

JST 永野 智己、NEDO 石田 勝昭、北九州市立大学 上江洲 一也、
宮崎大学 大島 達也、東京工業大学 下山 祐介、山形大学 松田 圭悟

オーガナイザー：JST 松田 一夫(座長)、JST 永野 智己、
産業技術総合研究所 中岩 勝(座長)、山形大学 松田 圭悟

分離工学イノベーション 特別シンポジウム

2016

9/6(火)

10:00-17:00

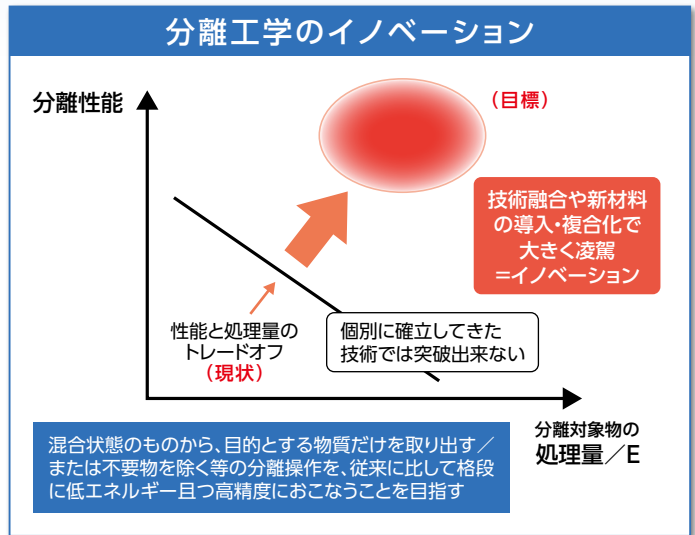
会場

徳島大学 常三島キャンパス
理工学部共通講義棟2階-K206
(A会場)



概要

分離は物質生産を伴う産業分野において目的物質を得るために必要となるキーテクノロジーです。これまで、物質生産に関する技術開発は、分子以下のサイズから宇宙を対象にするものまで幅広くなされており、マルチスケール性を考慮した体系化がなされつつあります。その一方で、分離技術は対象物質に着目した要素技術の開発が学術体系として確立されているものの、将来の社会・産業にイノベーションを引き起こすような、異分野の連携・融合による革新的な取り組みが未だに十分ではありません。そこで、本シンポジウムでは、JST-CRDSが刊行した戦略プロポーザル「分離工学イノベーション」を基に、「気体・液体の分離」、「資源・固体の分離」、「バイオ・医薬食農系の分離」の3つを議論の柱として設定し、持続可能な社会を実現する分離の科学技術を支える横断的共通基盤技術を確立するために、産業界・学術界の研究者、技術者を招待し、議論を行います。なお、本シンポジウムは化学工学会とJST-CRDSの共催企画として実施致します。



※本シンポジウムへのご参加に際しては、化学工学第48回会秋期大会への事前参加登録・当日参加登録のいずれかをお願いいたします。
シンポジウムの参加申込等は不要です、直接会場へお越しください。
ご参加いただいたかたへは、本シンポジウムの要旨集を当日配布いたします。

アクセスMAP



- 徒歩の場合／徳島駅から約30分
- バス利用の場合／徳島駅から約20分
- 徳島市営バス／徳島駅前から「中央循環(左回り)」行・「島田石橋」行・「商業高校」行 他に乗車し、「助任橋(徳島大学前)」又は「徳島大学南」下車徒歩約5分
(注意)「商業高校」行のみバス停が「徳島大学南」になります。
- 徳島バス／徳島駅前から鳴門線、鍛冶屋原線に乗車し、「大学前」で下車徒歩約5分